夕刊
磐城新聞
十月八日發行
發行所　磐城新聞社
（日曜祭日翌日休刊）

## 喜多教授の事ども
### ：◇新聞人になるまで◇：
時事新報記者　齊藤昌武

昔から早稲田は新聞人の多いところだ、その『都の西北』で新聞の講議を承つてゐるのが例に依つて『煙草』研究の權威ミヅリー大學出の、喜多先生！デブ〃とりの處へ一寸外國製のパイプを嘲えた位にして、大部にそのユーモア、ナンセンスは天下一品である。

何時の頃だつたか一寸忘れたが、先生に誘はれて自動車で外務省、內務省、帝劇と云つた、大建物を案內されたことがある。田舍出の我輩には、こんな大きなビルヂングを初めて見物する機會に接したのだから中々に感心させられた。後で上野松坂屋側の燒鳥に、舌づゝみをうつたり、この先生、生徒たる自分を伴れだして中々と面白いことを見せたり、聞かしたりだ。一寸氣をぬかれた態で、はて先生變んなことをするものだなあーと思つてゐたらその後で色々と鹿爪らしい御說敎、君新聞人を志すもの須く常識圓滿になる必要があるのだ、なんて散々御馳走をしておいてから、色々と有難い說明を聞かされたのには若輩も、色々と變つた印象を刻みつけられた。その先生又中々もつてモダンボーイ、大學の敎授などには珍しい程の精力家ときてゐる、それに敎室の講義は實に興味百パーセントでボート、ホツケー、野球、自動車、何んでもござれの博學多才、その先生を師に持つ若輩もこれで中々の强者、先づやつとこ東京新聞の端くれを汚つて、これから泳ぎ出やうと云ふには益々持つてその責任重大である。

去る總選擧のことだつた若輩も毎日この應援ではその提灯もちに忙しかつた、師が永井柳太郎をかつぎ出して石川縣から代議士にうつて出た時のことである。あの先生、よせばよいの各方面へ手を出して、遂に候補取消しをしたつたがそれでも中々の頑張り屋には驚いた。

若輩この新聞學者について、啓發された點又多々あり一寸紹介に及んだわけである。

### 秋の村（童謠詩）
泉　眞

かきの實甘かき
もう熟れた

### 磐城歌壇
小山田滋選

佐川和弘

○秋深み比叡の山にこもるべくこの朝叔父は旅に行けり
○四十路の叔父の願ひはたゞ一途身は佛法の安らけきみち
○つゝがなく比叡の山に著きしとふうからひた待ちし信り來たれり
○これの世をなげきかなしみ比叡にこもる叔父の心をみださすなゆめ
○滋賀の國比叡の山も秋ならむみちのくの山はすでに秋なり

### 潮聲句會（第四十八回於萬袋居）
雜詠（一）

庭の石枝垂るる萩を支へけり　逸郎
野芒に風定まりて暮れにけり　眞砂常
二の厄日空どんよりと垂穗かな　鶴歩
百舌鳥鳴くや榎大樹の素天邊　石城
鈴虫の露ふり落す音色かな　十里
秋近し草木に疲れ見ゆるまゝ　長貴
梧桐落ちて庭先づ淋し秋の暮　晩霞
聞きすます虫いろいろの音色哉　竹羊
何時の間に過ぎし厄日や秋祭
すさましき夕燒や百舌鳥の聲　芳月
稻の穗の底力あるそよぎかな
椽下のかけ擂鉢や唐辛　文狂
增水や終にくづるゝ三藜
住つきて虫聞く秋となりにけり　松堂
尺八吹くや月大きく横はる
朝露にとても美くし葉鷄頭
木犀や琴を奏づる窓ぎは　武門
谿川に添ひし小路や葛の花
病葉のしたゝか散りし徑を行く　孤舟

### 時代警語

○眞誠の高貴とは獨り德を云ふのみ……（ステツプネー）

各自相應に自己の天職を盡し、ともに才能、決斷、度量、思慮の四德を發ふべきである是等の德ありてこそ人も禽獸と異る靈長としての眞價を有するものと云ふべきである

眞赤な頰紅たんとつけ
ニツコリ笑つた笑くぼで、
今年木の芽の萌ゆる頃
生れた坊やは笑ひます

荒野育ちの
尾花まで
粹な花を
つけました

### 社會の今日

10月9日

△義貞北國を經略す（延元元）△始めて東京に中學校を置く（明治三）△行政整理案要綱閣議で決定△ドイツ新內閣成立

○

冷かに雨降る日かな人の逝く　美波子
風寒み虫は燈影したびよる　月斗

### 講談　お蘭陀お蝶（153）
渡邊默禪作　布施長春畫

『旦那どうでげえすこの景色は……いゝちやげわせんか、ア、あれが六甲山で

こつちが武庫山かな、聟なら花嫁もある筈だが、片番の男やもめちや定めし淋しからう、些と北廓へでもお出でなんし、いゝのを見立てゝお浮れなんしと申上げたい位なもんだ、おや〜〜彼の峯の天邊に白旗が揚つたせ、偖ては源氏の伏勢なるぞ、者共油斷いたすな、なあに旗ぢやない、あゝそうか、成程雲だ、おゝ早いわ〜〜あつッ……もう谷一杯に廣がつてしまつた、おや風だ寒いのう、山中の風といふ奴は……時しも俄に風起り、天狗礫のばら〜〜と鳴動なして凄まじ遙かの杉の梢より又もや怪しの小天狗』

『オイ〜〜延公、何を一人でべら〜〜じやべつてゐるのだ、いくら人氣のない山ん中だつてそう放圖もなくさへずられちや喧ましくつてうるさくつて肝心の景色が打ち懷しだ、些とあ默つて步きな偶には可からう』

『是はしたり旦那の御意とも覺えられぬ御一言、此の延公に默まれとはそれは曲がない胴慾な、默つて步く位なら親の代から幇間をエ、何の醉狂でしようぞい。旦那のお伴で遙々と江戶から來たのは何の爲め、おしやべりしたいばつかりに足に底豆、膝栗毛、凭うしてついて步いてゐるのに默つてろとは情ない、ェ、聞こゑませぬ旦那さまエ、』

『アハ、、、手が着けられないな、長唄から今度は義太夫と化けやがつた、同じ腮を叩くならもつと上品なことを吐かしてくれ、景色を賞めるんなら歌とか俳諧とかでなくちや、風流の交りが出來ないせ悲しいかな其の心掛があるまい汝には！』

『怪しからんことを、假初にも此の延公に對して心得はあるまいとは奇怪の雜言お望みとあらば味噌一こしこはだのぬたで御座らうとへいけい一門の敎盛の首でも取つてお目にかきよう、エヘン、ふんどしのやうな白雲腰にして土俵を仕切る裸山かなエヘン、閑古馬腹が減つたと怒鳴るなり草臥た、有馬はまだか駕丁さん其の駕に俺も乘りたりや峠かな』

『おい〜〜もう澤山だ』

『アハ、、、もう兜を脱いで降參とおいゝなすつた、エヘン延公は偉ひもんでげんせう』

西の宮から山麓づたいに小林へ出てそれから王瀨といふ山中の部落に這入つて有馬溫泉に向ふ峠路を一挺の山駕を吊らせて搖られながら登つて行く湯治客がゐるそれは伴の男を加へて三人連れの江戶者らしい話振りだつた。

駕に乘つてるのが年頃四十許り、長の旅に日灼けをした故か、色の淺黑い圓る顏で鼻の大きい少し口の歪んだ、額と眉の間の迫つた男、結城紬の小袖に煤竹羅紗の半合羽、絹の股引に脚絆といふ打扮で手拭を吉原冠りに火繩を駕に下げ莨をやに下りに喫んでゐる、伴は取捲きに同行した野郡間らしい男、雨掛を擔いだ手甲脚絆の逞ましげな若者であつた。

所在なさの冗談に笑ひ興じて有馬手前の船阪村から約半里ばかりの山路に差しかゝつた折、先に立つた延公といふのがちよつと立停まつて

『たや旦那、旦那ちよいとちよつと、彼方を御覽なせえまし、ゆ、行倒れがおやすせ、あッ！女だ、女だ！正に判然と若い娘の新造の美人だ、さあ大變、あれを跨がなけりや通れねえ、女の關所、色氣があつて有難えが大の野郎が五六匹もつながつてあの腹の上をピヨロピヨロ跳ねて行くのは殺生だ、さあ旦那、如何する如何する』。

### ラヂオ
仙臺　JOHK　…九日…（日曜）…

△前九、〇〇A　氣象
△九、一〇A　榮養料理（ワカメの味噌汁…主料理　アサリと野菜の甘辛炙…副料理）榮養研究所
△九、三〇A（子供の時間）お話（世界の陸海空軍）平田晉策
△一〇、〇〇A　宗敎講演（國難と日蓮上人）日蓮宗管長風間日法
△一〇、四〇K　講演（闇より光へ）岡山醫大敎授醫學博士畑文平
△一一、一〇A　謠曲講座（謠の道しるべ）實演…金剛巖　解說…池內信嘉
△一一、四〇B　運動競技（オリムピック選手歡迎水上競技大會狀況）六大學野球中止の場合は後四、〇〇延長
△正午A　時報　氣象
△後〇、三〇A　ニュース
△〇、五〇A　放送舞臺劇（修善寺物語）岡本綺堂作
△二、〇〇　五、三〇A　運動競技（六大學野球リーグ戰試合狀況…早大對法政二回戰）
△二、〇〇A　淸元（野球なき場合にのみ）
△二、二〇A　講談（義士外傳片山萬造）一龍齊貞山
△三、〇〇A　獨唱…鯨井孝
△三、四〇A　氣象
△四、〇〇　ニュース
△六、〇〇A（子供の時間）（動物オリムピック大會）BKコドモーサクル
△六、三〇　講演（職業紹介總動員を迎へるに當りて！）宮城縣學務部長淸水谷徹
△七、〇〇A　ニュース　氣象
△七、三〇A　名曲鑑定（箏曲）解說…田邊尙雄　實演…宮城道雄　牧瀨喜代子
△八、三〇A　義太夫（伽羅先代萩）竹本小土佐
△九、〇〇A　浮世節　唄…立花家橘之助　三味線…立花家橘次
△九、三〇A　時報　ニュース　氣象

內科、小兒科
柳病科　入院應需
藤沼醫院
平町紺屋町
電話平四五〇七番

何が梅月をそうさせたか？
それは時代の要求である!!!
斷然五割安決行
先づ此の値段を御覽下さい。

| | | |
|---|---|---|
| 冷ビール | （をとほし付） | 卅五錢 |
| 生ビール | 大ジョッキ | 四十錢 |
| | 大カップ | 八錢 |
| 上酒 | 一本 | 十二錢 |
| ウイスキー | 一杯 | 八錢 |
| サイダー | 一本 | 十二錢 |
| うどんそば | | 五錢 |
| 冷しうどん | | 七錢 |
| カレーうどん | | 十錢 |
| 冷むぎ | | 十五錢 |
| カレーライス | | 十錢 |
| 天どん | | 十五錢 |

みつ豆、氷水一切
其他何品によらず市價の五割安
平驛前通り（新藤屋前）
梅月食堂

夜間診療
胃腸　梅毒
內科　十二指腸虫病　專門　內科部
淋病　皮膚病　婦人病　專門　外科部
松村胃腸病性病科醫院
（平町南町電話一〇七番）

秋ヲ代表
イタジマス洋食
松茸ソテイー
松茸フライ
松茸ライス
ビフステーキ
メンチボール
チキンソテイー
紅茶
上御酒二十五錢
洋食。喫茶。宴會
コンパル
電話六六六番

御料理
八千代
平町田町
電話三七五番

横濱植木株式會社特撰
草花、蔬菜類
優良種子
各種賣出し致しました。
農園藝やく品の御相談は
西村屋藥局
電話三番

內科
一般科
難波醫院
醫學博士　難波睦
平町大町新川端（電話五〇二番）

今般モダーンな新ポンテアク號のオープンが入車致しました。自動車通の御方の最適車ご存じます是非御試乘を御願申上ます。セダンも御座います。
平二　尼子タクシー部
電六四〇番
主任　澤資之

高久病院
平町田町（電話五一三番）
醫學士　高久忠
新潟醫學士　赤羽淸
藥劑士　佐竹雄
內科　小兒科　外科　花柳病科　耳鼻咽喉科　レントゲン科

季節料理
鳥
松茸
よせなべ
其他種々……
大々的勉强…（出前迅速）…
大蒲燒
壽司
折詰
仕出し部
魚榮
田町
電話四二四番

度量衡。計量器。
吸入用酸素。
酸素吸入器。
關內藥局
電話四〇番

漆器の御買入時
漆器は空前の大暴落を致して居ります。再び得難き最底絕好の御買入時です
㊋は漆器を專門に在庫品を豐富に取揃へ
各位の御滿足を得るに努力致して居り桝此の絕好機に御求めを切に御奬め申上げます。御滿足を得らるやう！何如樣にも御相談に應じます故是非一度御照會を。
各國產漆器專門御小賣
共榮漆器店
（平町3町目36元郵便局裏通）
店員募集　十二三才…小店員　三十才迄…外交員　優遇す

# 中央の巨星を迎へて 石城政友同志の交歡
## 總會＝當選祝賀＝報告演説 けふ平町聚樂館の諸會合

石城政友部會では今八日午後一時から平町聚樂館に於て大体昨報の順序により部會總會、金成貴族院多額納税議員の當選祝賀會を開いたが總會に於て決定した新幹部及部會の宣言決定次の如し

### 宣言

今や滿洲國は承認せられ東亞全局の安定期して待つべきものあるも、獨斷偏見悉く惑れる認識の裡に行はれたる聯盟調査團の報告に徴し國際的關係の急迫蓋し一日の偸安を許さゞるに至れり、內は國民生活の重壓に因る世相の惡化あり帝國の現狀は擧國一致敢然としてこの國難を打開せざるべからず、刻下の非常時に際會し我黨恒に政策を樹つるや衆に媚びず空しきを掲げず終始一貫實際に即して眞に國民生活の安定に寄與せんとす、若し夫れ地方的に之れを觀んか機宜の施設計劃は漁農山村を賑はし、市街地の經濟に彈力あらしめ、更に地方景氣の大宗をなす炭況の打開に就てはその前提たる鐵道運賃値下げに至る迄最善の努力を拂ひつゝあるが如き地方民大衆の夙に認むる處なり、吾人は常に正を履んで過らず眞を求めて息む事なくかの民意を蹂躙して顧みざるが如き横道畸形の政治を排擊すると共に彌々吾黨傳統の眞面目を發揮し同志相率ゐ敢て時局匡救の重に任せん事を茲に宣す

### 決議

一、我黨は刻下の非常時を救濟し黨既定の政策遂行に邁進し苦境に沈淪せる國民の生氣を恢復せん事を期す

右決議す

### 役員は再選
常任幹事一名增員

役員改選の結果は會長木村清治、副會長山崎吉平、古川傳一、幹事長井上茂作諸氏全部再選重任、常任幹事も福島民報支局長粟屋市氏を加へたる外之亦重任する事に決定した

### 近々中一部組織變更
黨勢擴張に資す

多少の異動あるべく豫想された役員改選は前項の通り會長以下全部再選重任と決定したが、從來の組織にては黨勢擴張その他部會の機能を發揮するに就て遺憾の節あるので近々中現在の部署に若干の增減改廢を斷行すべく今日の總會席上に於て承認を求め滿場一致之に決定した

### 幼駒育成設備指導

石城産馬組合の幼駒育成設備指導は縣產馬組合聯合會山本技師により左記日割で行はれる

△十二日磐崎、上遠野村△十三日澤渡村△十四日上小川村

### 諸種の都合から 本社主催 少年庭球延期
更めて期日決定發表

本社主催の第十一回郡下少年庭球大會は明九日磐中コートに於て開催する筈であつたが時恰も運動シーズンとて自校の秋季運動會その他諸種競技會等で充分なる練習つかず、適當の時季迄延期希望を有する學校が非常に多い爲差し當り之を延期し期日決定の上更めて各校の參加を求める事になつた、尚ほ該催しにつき贊意を表し多數の賞品を寄贈せられたる左記各商店に深甚の謝意を表す次第である

（順序不同）

釜屋、森田屋洋品店、大一屋、西村屋藥局、魁文堂書店、三井吳服店、丸ほん、橫山彰助商店、マルトモ書店、ツルヤ洋品店、大塚運動具店、黑屋洋品店

### 平町婦人會の水道視察延期

既報—平町婦人會の上水道貯水池其他の視察は十一日に延期された

### 滿洲行 藤田中尉 —第九十一信—

◦◦◦青年教育家山崎伍長の戰死

◇敵は我が勇敢なる威武に恐れ家屋內に屏息し乍らも死にもの狂ひで亂射亂擊した、その拳銃の一彈が仇なして我が山崎分隊長の頭部を射貫いた、氣丈な伍長も鮮血にまみれて其場にどつと倒れた、噫！、嗚呼山崎伍長は不歸の客となつたのだ、思ひ起す

◇山崎伍長は平素溫厚にして篤實上下の信賴厚く或は中隊の被服掛或時は給養掛助手として上官を助け戰鬪に際しては分隊長としてよく奮鬪し其警備勤務に當りては積極的に自己の職責を遂行したのであつた。

◇三間房の激戰にいたつては最も堅固なる敵陣地に對し斷然先頭に立つて勇敢に奮鬪し格鬪を續け敵を倒すこと二名、其勇猛なる動作は中隊は勿論ひいては軍の戰況を有利に導きたる素因をなしたのだ。其死は惜むべく其殊勳沒すべからず、されど——！

◦◦◦◦山崎伍長の人と成り◦◦◦◦

山崎伍長名は正己、明治四十二年十月十五日福島縣耶麻郡慶德村大字山科字山崎　山崎啓一氏の二男に生る、長兄夭折して相續人となる慶德村小學校を了へ進んで會津農林學校に學ぶ、昭和二年三月同校を卒業するや直に本縣實業補習學校教員養成所に入り翌年三月卒業同年四月田村郡美山公民學校助教諭を拜命以來同校に奉職すること一年九ケ月、其間兒童の教育にとして將た又地方農事改良指導誘掖に盡瘁すること尠なからず、昭和五年一月十日徵せられて步兵第二十九聯隊に入營第五中隊に編入せらる、同年十二月一日上等兵に追級伍長勤務を命せらる、昭和六年三月十八日滿洲駐剳隊の先發員として矢野大尉以下十三名と屯營出發奉天に駐剳同地警備に任ぜり、先發員として職務に精勵格勤の廉を以て中隊長より表彰せらる、九月十八日日支事變突發以來第五中隊第二小隊第三分隊長として奉天鄭家屯通遼の警戒に任ず、十月二十八日一裸樹附近萬太廟（中隊長栗原大尉戰死）の戰鬪に參加し爾來各地の警戒に任じ十一月十八日昂々溪附近三間房の戰鬪に於て戰死す。

◦◦◦奇しき因緣◦◦◦

◇滿洲事變が勃發すると國民の輿論が期せずして一致した、滿蒙の荒野には幾多の激戰が展開されたが皇軍の行く處一として可ならざるはなかつた、國民は燦として輝く皇軍の威容を今更の如く歡賞もし渴仰もした、國民の赤き心と軍隊に對する感謝の念とは戰線への慰問金品となつて山と積まれた、やがて滿蒙の野には慘くべき酷寒が襲つた

### 永戶、小川間の林道開鑿一頓座
日立鑛山所有地通過が問題 内村平營林署長目下折衝中

平營林署では永戶村から上小川村に通ずる林道開鑿工事が日立鑛山所有地を通過する事になつて居るので去る六日內村署長は茨城縣助川町に至り日立礦山と折衝を試みたが會社側としては種々の都合上から回答を與へなかつたので當日に纏まるところなく歸署し再び二十日兩者が折衝をなす筈である、

同工事の工費は僅々二千餘圓であるもこれが完成の曉は地方としては頗る利便多いのみならず目下江田信號所が驛に昇格運動が試みられ地方部落民としては同所へ通ずる唯

### 關東北庭球大會 出場百餘組を豫想
盛況を豫想される當日

磐城軟球協會主催第五回關東北庭球大會は既報の如く二十六日磐中コートに於て開催されるが十八日の締切までには各炭鑛を始め平俱樂部法曹團各小中校から遠く仙臺鐵道局並專賣局等百組餘りの申込みあるものと豫想されてゐる

### 平署管內自動車体檢查

平署管內車々体檢查は來月十日から五日間磐中グラウンドで行ふ

### 南町裏道路 延長工事近く着工
今日役場で入札

平町南町酒井醫院裏から鍛冶町に至る南町裏道路百間の新設工事入札は今八日午前九時から平町役場で行つたが千二百圓で平町佐々木健一郎氏に落札し一兩日中着工十一月中竣功の豫定である

### 郡青訓聯合 發火演習
來月十七、八日擧行

郡青年訓練所聯合秋期發火演習は來月十七、八の兩日磐崎地內を中心に行はれるが當日は過日行はれた滿洲事變の平町市街戰同樣例年になく極めて壯烈なものと見られて居る

### 實る秋 農村スケッチ 〔九〕
## 豐收に微笑む＝農村の橫顏
安價な街頭享樂 紙芝居の進出

淡泊な薄桃色のコスモスが咲き誇つて居る村の十字道の傍には平町で人氣を蒐めたお馴染の紙芝居の親爺さんが焦げた握り飯を頰張りながら古新聞を見て居たが、軈て腹がきまつたと見えて『ピリ、ピリ、ピリ——』と明朗な呼笛の音が限なく晴れ渡つた秋の空に響き渡ると忽ちにして男、女、年寄、子供、晝休みの村人の群がぞろ〲と集つて來る。

▽　△

開演前の拍子木が鳴り出したと思ふと『今宵も又三つの魂は消えた……』なんて態とセンチな音調で初めると滿座？の觀客はいやに靜まり返つて中には氣の抜けた樣なとぼけ面をして居るのもあるんです。親爺さんは更に一息ついて『倒幕の犧牲は又三つ增したは、我等の滿願は近づいて來るのだ……』這麼風になると子供等はそろ〲騷ぎ立つ、高橋藏相のカリカチュアの樣な顏の老爺さんも判つたのか何うか判別の付かぬ微笑みを浮べる。

▽

『おつかちやん、買つてくんちえよ！』

他の子供が買ふ喜びを見て恩愛の情に絆されつちまつたお內儀さんが一人去り、紙芝居も見たし、飴も買つて貰つて堪らなく嬉しくなつた子供が二人、三人と次第に去つて行く、親爺さんも賣上げを胴卷の墓口に入れると思はず莞爾、秋の陽を滿身に浴び乍ら田舍道を鼻唄を歌ひながら何處へともなく去つて行つた。

▽…◇…△

（鈴光生）

### 依然活氣乘らず （四倉市場）
買馴五十二圓に低落 （昨日の取引）

兩三日來頓に落調を辿つて來た晩秋繭は依然活潑ならず昨七日四倉市場の買馴は五十二圓六十錢に低落して出廻り末期の養蠶家達の氣を揉ませて居る

白貫數七百六十七貫、最高五十七圓二十錢、最低四十五圓三十錢、買馴五十二圓六十錢

### 鳴物入れて求人開拓に大童べ
十日の職業紹介動員日に 各種團体總動員の活動

十日全國一齊に行はれる職業紹介所總動員日に就て平職業紹介所ではポスター數百枚を連絡小學校、郵便局、鐵道待合室、町內要所、理髮店、湯屋等に掲げ更にチラシ數千枚を小學兒童をして各戶に配布させ主旨の宣傳と利用勸獎に努めるかたはら平町は三區に分けて役場吏員の外在鄕軍人分會員男女青年團、共濟委員等各種團体と協力し未就職者表を各戶に配布して大々的に求人の開拓をなすが一方智識階級の失業者に對しては縣社會課の特別班を組織し縣社會課の廳援を受け各官公署、銀行會社、商店を廻つて求職運動を起すなど全力を擧げて徹底的主旨强調に盡力する事となつた、因に最近の調査に依る平町の未就職者次の如く男女合計三百七十九名に達して居る

事務員男四六、女一五、商店員男一五、女一、女中一〇、自動車助手三、指物大工二、外交集金人三、給仕三、看護婦見習二、電話事務員八、其他男一五、土工二二一、雜夫女三五

### 最後の切札 競賣は少なからう
懷具合の良いところを見て 稅務出張所滯納整理に着手

縣稅務平出張所では秋蠶も大体に於て資金化され多少なりとも農民の懷具合が潤されたのを見て今迄延期して來た縣稅滯納による處分を斷行する事になり日曜明けの十日から所員は三班に別れて先づ山間部方部三坂澤渡方面から財產差押へに向ふ事になつたが今回は各町村とも匡救土木事業が相當施行されてる關係上最後の競賣を見る樣な事は少なからうと觀測されてゐる

### 好記錄續出の小さき選手達 （第二校運動會）

平第二小學校に於ける昨七日の運動會に好記錄を出し各方面より寄贈のメダルを授與されたもの左の如し

（五十米）四年—大木アサ、渡邊イソ、志賀勝代、長瀬喜美、瀧ユキ、松本千代、五年—鈴木登美、北村琴子、中村茂、金澤ヨシ、正木千鶴子、菅野文子（百米）六年—大谷ノブエ、阿部弘子、中村春子、丸山ヤヱ子、木田カクヨ、福田千代子、高一年—石井君子、奥津定子、富田貞子、松本初子、本間アイ子、武田早苗　高二年—高橋道子、田村まり子、國井キミ、飯島ふみ

### 自轉車諸共斷崖から眞逆樣
◎…瀕死の重傷を負ふ 久之濱局配達夫の奇禍

久之濱郵便局集配人仲町鈴木富太郎（四五）は七日午前八時頃配達の爲自轉車に乘つて同町筒木原地內を疾走中誤つて二間餘の斷崖から自轉車諸共轉落し前額部其の他に重傷を負ひ目下四倉町木村病院で入院加療中であるが可成りの重傷であると

### ◦◦◦◦四名を一網打盡 小名濱 ◦◦◦◦內鄕の弄花俗屋◦◦◦◦

內鄕村町下明神町四八自動車運轉助手志賀春政（三八）江名町仲ノ作三五魚行商吉田武一郎（三六）同中山定四郎（三六）同秋山常彌（三一）の四名は八日午前二時頃志賀方で花賭博開帳中平署員に踏込まれ一網打盡に檢擧された

### 炭車に觸れ人夫慘死
平發電所の椿事

夏井村大越磐城炭鑛平發電所人夫春田重藏（三四）は今八日午前八時頃脫線トロの復舊作業中百餘尺の高所から逆行して來た八十貫の炭車に觸れ胸腹部を强打し鎌田町金成病院で應急手當を加へたが午後一時死亡した

◦◦◦◦◦米澤から搜索願　米澤市立町四三八二生糸商朝倉保重（三二）は去月二十九日平町の神武會へ出席すると稱して家を出た儘行方不明なので今八日實父から平署に搜索方を願ひ出た

生れ飴行商大谷道夫（三五）は一昨六日午後茨城縣笠間町新町裏梅川源吾方に於て數名の男と賭博開張中其筋に檢擧さる

### 家計簿が—物を言ふ
禁酒節約等 泉公民學校の試み

泉村公民學校では自力更生の見地から生徒に對して家計簿作製方を督勵しておる最近之が現れとして冗費を委く節約しひいては負債等も徐々に返濟し始め殊に瀧尻部落の如きは禁酒を斷行した等其間見るべきものが大いにあるので向後に非常なる期待をかけられて居る

### 四倉通信

◦◦◦◦運動會一束　大浦尋常高等小學校秋季運動會は十六日擧行、大野尋常高等小學校秋季運動會は十五日擧行

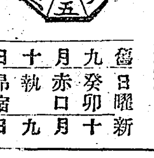
◦◦◦◦四倉消防組　第四部機械置場は六日上棟式を行つた

### 平町慶弔錄

△出　九品寺前三三鈴木久彌太二女榮代　白銀町五村上三郎二女崇子

△婚　山形縣北村山郡神崎村字五十澤一　齊藤金之助（三三）平町胡摩澤一五〇　大方アサ（三〇）

▲死亡　田町一五須サメ（三九）



諸判定應需
東京市本鄕區湯島四丁目五番地
高島易斷總本部　神誠館

▲一白の人　平靜の中にもこん亂に入らんとする險惡の日▲二黑の人　信ずる人を賴りてせい意を盡せば幸慶を招く▲三碧の人　才能衆に秀づるも德義を失へば身を破らん▲四綠の人　優秀の氣運にて萬事功を奏す開店營繕等吉▲五黃の人　財運滿つれば底の破れに用心すべし病注意▲六白の人　安泰に心おごりて衰微の基を爲す事あり注意▲七赤の人　上下の親愛を失ひ口舌爭論起り易し婚談凶▲八白の人　良運も午前より午後は更に吉となる精勵吉▲九紫の人　辛勞多きは廻り合せと觀念し控目が極安全

新 十月九日 日曜
舊 九月十日
癸卯　赤口　執　昴宿

治病器の權威
オキシヘーラー
オキシヘーラーは萬病を切らずに心地よく必ず治す。但し電氣にあらず。
適應症　高血壓、輕症中氣、心臟病、胃腸病、カクマク、ソコヒ、トラホーム、中耳炎、蓄膿症、呼吸器病一切、神經衰弱、腎臟病、神經痛、リウマチス、脊髓カリエス、婦人病、等々
七ケ郡一手販賣と實驗治療
平町田町大通り四九（三三肉店前）
オキシヘーラー平實驗所

荊妻たけ子病氣の處藥石無効十月六日午前九時十分死去致候間此段謹告仕候

追而送葬の儀は本月十日午後二時自宅出棺長橋町性源寺に於て佛式に依り相營み申候

昭和七年十月六日

男　山崎與三郎
　　山崎淸三
親戚　山崎定治郎
總代　坂田藤助
　　吉田正雄
友人　木村淸治
總代　青沼鋒太郎
　　伏見彥衞